

令和5年度

## 学校関係者評価書

評価対象期間 自：令和5年4月1日

至：令和6年3月31日

中央工学校

学校関係者評価委員会

## 目 次

1. 目 的	1
2. 学校関係者評価	1
3. 評価項目	1
4. 組 織	1
(1) 学校関係者評価委員会	1
(2) 任 期	1
5. 実 施	1
6. 評価要領	2
7. 自己評価概要	2
(1) 自己評価項目	2
(2) 自己評価結果と改善点の概要	3
8. 学校関係者評価結果	4
(1) 会議進行	4
(2) 評価結果	5
9. 総 括	5
10. 項目別評価結果	6
11. 学校関係者委員からの総括意見	17

## 1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

## 2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者などを選任し、令和5年度の学校業務について、学校が自ら行った自己評価結果についての評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。

## 3. 評価項目

評価項目（評価の観点4項目）は次による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際的な取組みが適切かどうか

## 4. 組織

### (1) 学校関係者評価委員会

委員長：松尾 真之介	デザイン分野担当
委員：齋藤 琢朗	建築分野担当
小松原 学	土木・測量・造園分野担当
鈴木 護	機械・CAD分野担当
エンピ・カンデル	商業分野担当
小栗 孝康	卒業生
小林 克哉	教育関係者
清水 克行	保護者
鈴木 健一	地域住民

（敬称略・順不同）

事務局：山下 光明 教務課

### (2) 任期

委員任期を令和4年4月1日から令和6年3月31日（2年間）とする。

## 5. 実施

令和5年1月26日（金）中央工学校1号館会議室において、学校関係者評価委員会が開催された。

## 6. 評価要領

自己評価書を学校関係者評価委員に事前配布し、確認を得た。学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果について説明を受け、学校関係者としての評価を行った。

なお、会議の進行及び必要な事務は学校（事務局）が行い、自己評価結果に対する公正な評価に努めた。

## 7. 自己評価概要

### (1) 自己評価項目

自己評価項目は、文部科学省による「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠し、本校の実状に合わせ、必要な取捨選択を行った。自己評価の項目は次の通り。

#### ア. 教育理念・目標・育成する人材像（大項目）

- ①学校の教育理念・目的・育成する人材像は定められているか（小項目）
- ②学校における職業教育の特色は何か
- ③社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ④教育目標・育成する人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者・関係業界等に周知されているか
- ⑤各学科の教育目標・育成する人材像・特色は、業界のニーズに向けて方向づけられているか

#### イ. 学校運営

- ①目的等に沿った運営方針が策定されているか
- ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- ③各規程等は整備されているか
- ④地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- ⑤教育活動に対する情報公開が適切になされているか
- ⑥情報システム化等により業務の効率化が図られているか

#### ウ. 教育活動

- ①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか
- ②各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか
- ③授業評価の実施体制はあるか
- ④関連分野の企業等の連携により、カリキュラムの編成・見直し等が行われているか
- ⑤成績評価及び進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- ⑥教職員資質向上の為の研修が行われているか

#### エ. 学修成果

- ①就職率の向上が図られているか
- ②資格取得率の向上が図られているか
- ③卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

#### オ. 学生支援

- ①就職・進学に関する支援体制は整備されているか
- ②学生相談に関する体制は整備されているか

- ③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- ④学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか
- ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか
- ⑥保護者との連携は構築されているか

#### カ. 教育環境

- ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- ②実習施設・インターンシップ等について十分整備されているか
- ③防災に対する体制は整備されているか
- ④防犯に対する体制は整備されているか

#### キ. 学生の受入れ募集

- ①学生募集活動は適正に行われているか
- ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ③学納金は妥当なものになっているか

#### ク. 財務

- ①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか
- ③財務について会計監査が適性に行われているか
- ④財務情報公開の体制整備はできているか

#### ケ. 法令等の遵守

- ①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ②個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか
- ③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- ④自己評価結果を公開しているか

#### コ. 社会貢献・地域貢献

- ①学校の施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- ②学生の地域活動を奨励しているか
- ③地域に対する体験教室・職場体験の受託等を積極的に実施しているか

#### サ. 留学生（国際交流）

- ①留学生の受入れについて明確な方針のもと、適切に行われているか
- ②留学生の受入れ・在籍管理等は、厳正になされているか
- ③留学生の学習支援のために、有効な体制が整備されているか

## (2) 自己評価結果と改善点の概要

### ア. 教育理念・目的・育成する人材像

「学生の受入れ方針」を定め、教育課程編成委員会を機能的に活用し、特色ある職業教育に取り組んでいる。業界関係者から指摘されている「コミュニケーション能力の向上」については、引続き「軽井沢合宿研修」をはじめ、学校行事(学園祭・レクリエーション)の機会を活用し、その能力向上を図る。

### イ. 学校運営

「令和5年度中央工学校運営計画」に基づき適切に運営されている。学校敷地内全面禁煙に伴う学外での喫煙問題については、社会人としてのマナーを養うよう喫煙指導を継続するとともに、学生のコンプライアンスへの理解を深める。

## ウ. 教育活動

教育理念に沿った「教育実施計画書」が策定されており、授業評価報告書に基づき PDCA サイクルによる見直し・改善がなされている。今後は、継続的な教員研修の実施に加え、基礎学力不足や発達障害を抱える学生に対する指導やハラスメント研修等にも取り組んでほしい。

## エ. 学修成果

就職ガイダンスの実施、充実した就職支援サイトの活用により、高い就職率を維持している。また、模擬面接を早期に実施することで、意識向上とともにスムーズな就職活動に繋がっている。在学中の資格取得については推奨資格を定め、受験意識の向上を図るとともに、取得率の向上に向けた講座・講習会の実施等、取り組みが行われている。

## オ. 学生支援

高等教育の修学支援新制度や各種奨学金の有効活用により、経済的な支援を必要とする学生の負担軽減に役立っている。これらは、専門の担当者が相談窓口となり修学支援の向上を図っている。また、メンタルヘルスについては「自己発見検査」や「スクールライフアンケート」を通じて、学生一人ひとりの把握に役立っている。

## カ. 教育環境

教育の質を維持するため、中長期的な計画に基に適切に施設・設備が整備されている。ただし、校舎の配置的に出入口が多いため、今後は所轄警察と連携した防犯訓練が必要である。

## キ. 学生の受け入れ募集

「学校案内書」「募集要項」「中央工学校ホームページ」などにより、学生募集活動は概ね適切に行われている。安定した学生数の確保を図るための広報活動について、継続的な検討が必要である。

## ク. 財務

「中央工学校における中期計画」の見直しを図り、再編計画に取り組んでいる。少子化が進む中、収益構造の見直しを図り財務基盤の維持・向上を図る必要がある。

## ケ. 法令等の遵守

関連省庁への届出をはじめ、適正な運営に努めている。引き続き自己評価を行い PDCA により改善に向けた取り組みを継続する。

## コ. 社会貢献・地域貢献

学校施設を活用した様々な取り組みが行われている。地域との共生にも力を入れており、学生の協調性や積極性などの能力向上に繋がることを期待する。

## サ. 留学生（国際交流）

在籍管理については滞りなく行われており、引き続き管理の徹底を図る。

## 8. 学校関係者評価結果

### (1) 会議進行

「学校評価実施概要(自己評価・学校関係者評価)」に従い、山下教務課長の進行により行われた。土田教務部長より自己評価書に基づき建学の目的・基本的運営方針・現状の分析(学生数・教職員数・学習概況)について説明。自己評価委員から、評価項目(大項

目・小項目)についての分析を説明し、評価結果を示した。

質疑応答の後、評価結果及び意見を評価シートに記載とし、後日郵送提出により事務局で取り纏めた。

## (2) 評価結果 (評価の観点 4 項目 に対する評価)

学校関係者による評価の観点に照らし合わせ、評価委員の評価を得た。委員による意見を集約すると次の通り。

### ア. 自己評価の内容が適切かどうか

令和 5 年度の自己評価書に基づき報告を受け、評価内容の確認をした。概ね妥当な評価であり、適切な評価結果と判断する。

### イ. 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか

改善策は概ね適切と判断できる。より良い改善を図るため、学校関係者評価委員の視点から一部助言を加えた。

### ウ. 学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか

自己評価の結果を反映させた「令和 6 年度 重点管理指針」が示されている。次年度に向けて、具体的方策が盛り込まれた「令和 6 年度 中央工学校運営計画」策定に期待する。

### エ. 学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか

令和 4 年度の自己評価・学校関係者評価結果を反映した取組みが確認できた。一部、継続検討中の課題も見受けられたが、多くの点で改善を確認した。概ね適切と判断する。

## 9. 総括

令和 5 年度における学校運営について、自己評価結果の報告を受け学校関係者として評価を行った。新たに改善された項目や継続検討中の課題も見受けられたが、引続き学生が質の高い教育を享受できるよう、学校関係者評価委員からの助言を参考に学校運営の改善に努めてほしい。

最後に、各学校関係者評価委員の意見を鑑みても、概ね適切な評価であると総括する。学校関係者評価委員による自己評価項目に対する意見を、次ページ以降に取り纏めた。今後の、改善の参考としてほしい。

以上

10. 項目別 評価結果

(1) 教育理念・目的・人材育成像

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
1-1	学校の教育理念・目的・育成する人材像は定められているか	4	3	2	1
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
1-3	社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
1-4	教育目標・育成する人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者・関係業界等に周知されているか	4	3	2	1
1-5	各学科の教育目標・育成する人材像・特色は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

評価結果	適切：○○○○○○○○○○	不適切：
------	---------------	------

自由記述

- 軽井沢合宿研修を通じて学生が、学校の教育理念・目的を理解できている。
- アドミッションポリシーが適切に策定されており、育成する人材像を明確に定めている。また、社会のニーズを踏まえた中期計画が全学的に推進されている。
- 飛鳥祭では製作物をわかりやすい言葉で説明されている。コミュニケーション能力を高める機会を活用されていると感じました。
- 再開された軽井沢合宿研修を経験し、例年よりコミュニケーション能力を培った人材育成ができている。
- 業界、特に建設業界は今後も構造的な人手不足が継続し、貴校に対する業界の期待は続いていくと考える。業界と連携した、さらなる教育内容のDX化が期待される。
- 1-5につきまして、業界のニーズとは何か、即戦力とは何か、人手不足の中で共に頑張してほしい人材とは、本当の所を助言できる場があると良いと思います。
- 1-4 (エ)「建設業界」につきましては、横浜市建築設計共同組合、協同組合横浜市設備設計の二組合にも声をかけていただければと思います。(中央工学校の卒業生も居りますので)
- 学校の教育理念は確固たるものであり、関係する者にはしっかりと浸透していると思います。業界ニーズとしてコミュニケーション能力に加え、強いコンプライアンス意識も重要だと思います。



(2) 学校運営

評価項目		適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
2-3	各規程等は整備されているか	4	3	2	1
2-4	地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
2-5	教育活動に対する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
2-6	情報システム化等により業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

評価結果	適切：○○○○○○○○○○	不適切：
------	---------------	------

自由記述

- 校長ブログや各科の Instagram 等により、適切に情報が公開されている。

---

- もう少し YouTube や Instagram 等で、伝わりやすい情報を公開すべきだと感じた。

---

- 情報システム化で学生の負荷が少なくなったと聞いています。

---

- 地域連携を教員は進めている。学生も、できれば地域の方々との関りを増やしても良いのではないか。

---

- 地域との連携は非常に注力されていると感じました。喫煙は完全に解決するのは難しいと思いますが、問題が発生した時の対処があらかじめ示されており、真摯な姿勢が理解できた。

---

- 学生の路上喫煙を見かける機会は減少しています。喫煙マナー指導の継続をお願いします。

---

- 2-4の全面禁煙も良いと思いますが、学校内は喫煙者が多いと思います。空気浄化装置も良い物がありますので、喫煙ができるよう検討しても良いと思います。OBに寄付を募っても良いのでは。

---

- 非喫煙者のみ入学させるもの必要かもしれない。

---

- 社会人としてのマナーを養うよう、指導を継続することが必要と思われる。

---



---



---



---

### (3) 教育活動

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
3-1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	4	3	2	1
3-2	各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
3-3	授業評価の実施体制はあるか	4	3	2	1
3-4	関連分野の企業等の連携により、カリキュラムの編成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
3-5	成績評価及び進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
3-6	教職員資質向上の為の研修が行われているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

#### 自由記述

○教育理念に沿った教育実施計画書が策定されており、PDCA サイクルに基づき、見直し・改善を重ねており適切と思われる。

○学生アンケートでしっかりと学生の意見を聞いている。評価できるポイントです。

○授業評価報告書は素晴らしい取組みで、レベルアップに役立つと思いました。ハラスメント研修による意識付けも、非常に重要だと思います。

○企業が求める人材教育をするため企業連携をしているのは良いが、より一層の連携が必要だと思う。

○教職員の学習できる時間は少ないと思いますが、継続的な教育・研修をお願いします。

○基礎学力不足や、発達障害を抱える学生指導に関する研修も必要と考える。

○留学生指導は大変かと思いますが、専門教育に加え、日本語教育・マナー面の指導もお願いしたい。

○海外交流が増えています。海外の設計事務所と交流を図り、学生の幅を広げ、優れた技術者の養成を目指したら良いと思います。

(4) 学修成果

評価項目		適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
4-1	就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
4-3	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

- 卒業生についての情報交換や動向把握に努めている。必要と思われる。
- 卒業生へのフォローアップ及び、在校生へのフィードバックは良い取組みだと思います。
- 留学生の同窓会は本当に有効活用されているのか。
- 就職率・資格取得率ともに高い成果をあげています。
- 就職希望者だけではなく、全学生の何割なのかも考えて実施するとさらに良い。
- 合同企業説明会では、担任が積極的に企業ブースへの訪問を学生へ促している。また、資格を取得している学生も多く、資格取得率の向上に努めている。
- 私事ながら、自身の教え子達も貴校に入学し卒業後、大手ゼネコン・建築事務所に就職でき、大変感謝している。
- 社会のニーズは資格と思われる。取得率の向上が図られ、高い合格率を達成しており適切である。
- 資格取得はとても大切な事ですが、自分を大きく見せる為だけに取得するのは何の意味も無い事と、実際にその仕事に従事しながら「そういう事なのか」と実感しながら本質を覚えれば良い事も伝えてあげてください。
- 卒業生は幅広く活躍しています。交流を図るような企画を軽井沢研修所等で行って、多くの人に知ってもらったら良いと思います。

(5) 学生支援

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
5-1	就職・進学に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-4	学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4	3	2	1
5-5	課題活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
5-6	保護者との連携は構築されているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

○学生に対する経済的支援は特に必要かと思われま。適切な対応と連携が図られていると思いま。また、保護者との連携も構築されていると思いま。

○担任は学生に対して積極的に企業を紹介し、就職を支援している。また、学生から担任にはプライベートなことも相談できると聞いている。担任が学生との信頼関係・学生支援を行うことができていると感じる。

○教職員の方々の対応の成果だと感じました。

○進学希望者(大学等)と実際の進学者数を報告してほしい。

○学生相談としてOBの意見を聞くコーナーを設けてはいかがでしょうか。卒業や進学の助言を聞けるような、ホームページまたは電話相談の窓口があっても良いと思いま。

○休・退学者へのフォローについて資料を拝見しましたが、きめ細かく実行されていると思いま。

○成人している学生なので、高校生ほどではないと思うが、心の悩み・メンタルヘルスに問題がある学生に対するケアも、今後の課題になると思う。

(6) 教育環境

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
6-2	実習施設・インターンシップ等について十分整備されているか	4	3	2	1
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1
6-4	防犯に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

○自然災害の対応はしっかりしている。学生と先生と一緒に避難場所の確認をしているのはとても良い。

○教育環境に関しては、素晴らしい施設を持っていると思います。今後、防災に関する整備で強固なものが必要になると思います。

○引続き台風など自然災害への対応をお願い致します。

○中長期的な計画に則り、適切に施設・設備が整備されていると思う。所轄警察や消防と連携した防災訓練も、今後必要と思われる。

○校舎配置的に防犯は難しい課題かと思いますが、その課題を解決するマニュアル検討は良い取り組みだと思います。

○出入口の多い学校ですから不審者対応は重要と考えます。防災マニュアル完成を期待しております。

○インターンシップは学生自身で企業にインターンするだけではなく、学校として、しっかり全学生にインターンシップできるようにする必要があります。

○最近、技術書を置いている書店が少なくなっています。中央工学校の蔵書目録をネットで見られるようにしても良いのでは。

(7) 学生の受け入れ募集

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
7-1	学生募集活動は適正に行われているか	4	(3)	2	1
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	(3)	2	1
7-3	学納金は妥当なものになっているか	4	(3)	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○○	不適切：
------	-----------------	------

自由記述

- SNSに興味のある学生にとって、身近なPRをすべきだと感じた。
- Net社会になっている。動画でのPR等、SNSの活用も大事だと思う。学生が主に使っているツールも検討が必要である。最近ではTikTokを使う学生がとて増えている。
- 入学希望者の利便性や学納金等が、今後の重要課題だと思われる。
- Web出願ができるのはとても良い。
- 少子化が進む中、工夫をされ確実に実行されております。教育成果である学生作品のアピール活動を期待しています。
- 入学した学生からは、自身の高校にて説明を受けたことがきっかけで、入学を決意する学生も一部にいる。高校ガイダンスへの積極的な参加を行い、定員充足率の向上を目指していただきたい。
- 体験入学やオープンキャンパス等が適切に開催され、ホームページ上の情報発信も十分だと思う。
- 業界として答えのない課題であり、最重要な検討事項と思います。目的意識の定まっていない層や、今まで比率の少ない女性をターゲットに活動されていることは素晴らしい取り組みだと思います。
- 学生募集活動は、各地の同窓会支部にも情報を知らせていただければと思います。

(8) 財務

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	4	3	2	1
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

○教育活動を維持していく上で財務も大切である。ある程度、財務基盤も安定しているかと思いますが、ますます進む少子高齢化対策が必要だと思う。

○少子化等により、大きく変化していくと思われます。中・長期的計画に基づき適切な学費設定・入学者の確保が必要と思われます。

○少子化による経営環境が厳しい中ですが、収益構造などの見直しに着目されており改善されることを願っております。

○適切な評価である。

○適切である。

○財務は良く管理されていると思います。

○学校の財務状況は適切かと思います。今後、厳しくなるであろう学生数を見越した納付金の設定が必要だとは思いますが。中央工学校らしい教育環境の整備に期待しています。

(9) 法令等の遵守

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
9-2	個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか	4	3	2	1
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
9-4	自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

○関係法令等の遵守は教育に最も必要な事だと思います。周知徹底を図り、今後も継続してください。

○コンプライアンスがしっかりしている事は良い。

○適切に対応がされていると思います。

○適切な対応がされている。

○適切である。

○適正かと思います。

○法令は、昨今の社会情勢に合わせて変わっています。良く対応していると思います。



(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
10-1	学校の施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
10-2	学生の地域活動を奨励しているか	4	3	2	1
10-3	地域に対する体験教室・職場体験の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○○	不適切：
------	-----------------	------

自由記述

○三五荘と南ヶ丘美術館はすごい施設だと思う。

○地域住民からの依頼を受け、造園デザイン科の学生による「竹垣改修」「地域住民宅での樹木の剪定」が実施され、地域の景観維持に貢献しています。

○社会・地域に貢献している。地域貢献・社会貢献を通じて、学生の能力向上に繋がることを期待する。

○適切である。

○地域との共生について、非常に努力されている事が良くわかりました。

○10-3「職場体験」について、当てが無い生徒への支援を学校側がもっと行ってほしいです。

○専門技術者の活動を保護者に広めるようにしたら良いと思います。建築関係は保護者でも良く知っていますが、特に電気設備・機械設備等は専門の設計者がいる事を知らない方が多いので。

(11) 留学生 (国際交流)

	評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1			
11-1	留学生の受入れについて明確な方針をのもと、適切に行われているか	4	3	2	1
11-2	留学生の受入れ・在籍管理等は、厳正になされているか	4	3	2	1
11-3	留学生の学習・就職支援のために、有効な体制が整備されているか	4	3	2	1

評価結果	適切： ○○○○○○○○○○	不適切：
------	----------------	------

自由記述

○教育の質を維持するため、留学生の受入れ枠を設けている。日本人学生と、留学生のバランスがとても良い。

○適切であると思います。

○適切である。日本語能力試験 (N2・N1) の資格取得も期待したい。

○適切である。

○適正校の認定は努力の賜物と思います。円安もあり、学生が増えることを期待します。

○留学生の受入れは大変だと思いますが、日本人技術者の減少を考えると、留学生の学習支援は大切だと思います。

## 11. 学校関係者委員からの総括意見

- 中央工学校の教育はとても素晴らしいものだと思います。さらに軽井沢研修所で学生がしっかり研修を受けており、大いに成長できていると思います。
- 教職員の皆様が工夫され教育を実践されたことに敬意を表します。造園デザイン科の学生による「竹垣改修」「樹木剪定」は景観がきれいになり、地域に大きく貢献しています。飛鳥祭では新たな取組みもされており、今後も交流の輪が広がることを期待します。
- 私が疑問を感じた部分は自己評価書でも“ほぼ適切”を選択しており、信頼できる自己評価と考えます。健全な学校運営を行うには募集活動が大事になります。もっと力を入れて学生数を増やしてほしい。
- 自己評価書を拝読し、適切な学校運営が行われていることを確認いたしました。Z世代と呼ばれる現代の学生への対応は、従来とは異なるかと存じますが、軽井沢合宿研修・飛鳥祭などを通じて学生のコミュニケーション能力が磨かれることを期待しています。
- 2年間、評価委員を務めさせていただきありがとうございました。教育関係者として客観性をもって学校を鑑みる良い機会になりました。
- 中央工学校は「工業技術を享受し、もって実務的な技術者を養成する」ことを目的として設立され、校是である「堅実」「厳しい実務教育」「人間涵養教育による正しい職業観の育成は、これからも必要な倫理だと思います。今後も、指導していかれるようお願いします。
- 自己評価をされるにあたって根拠とした資料について、ほんの一部ですが拝見しました。日頃より、学校運営にまじめに努力されていることが良く理解できました。皆様のご尽力に敬意を表します。また、これだけ真剣に取り組まれた教育を受けることができる学生は幸運かと思えます。建設業は本当に異常事態です。物価高騰・人材不足・残業問題・能力低下・離職率UPなど課題が多く、少し歯車が狂うと品質事故・安全事故が起こります。そもそも、建設できない、できても収支が合わないと苦しみは多く、今までにない状況です。でも、「建設は素晴らしい!」「ものづくりは本当に魅力的!」、これだけは変わっていないと思います。学生の頃から環境の変化に対応できる力を身に付けつつも、芯となる建築の面白さ、魅力をきちんと学べる実践的な中央工学校は、これからの建設業界で活躍できる人材をもっと輩出してくれると心より期待します。
- 学校評価に参加して、学校教育の必要性を感じました。また、他の学校関係者評価委員の考えを知ることもでき、卒業生として学校の方針を改めて見直すことができました。今後は、もっと海外の技術学校との交流を行えるようにしていただければと思います。
- 建築会社勤務している者として、今後お手伝いできることがございましたらご協力させていただきます。

以上